

宇久高等学校英語科 CAN-DOリスト

		学 習 到 達 目 標				
技能		聞くこと	読むこと	話すこと[やり取り]	話すこと[発表]	書くこと
評価計画 時期 文Ⅱ 理Ⅱ 文Ⅰ 文Ⅰ		・授業中：活動状況（ペアワーク等） ・定期考査：リスニングテスト ・定期考査ごと：インタビューテスト	・授業中：活動状況、Q & A、要約 ・定期考査 ・定期考査ごと：インタビューテスト	・授業中：活動状況（ペアワーク等） ・定期考査ごと：インタビューテスト	・授業中：活動状況（ペアワーク等） ・学期に2回：スピーチ or プレゼンテーション	・授業中：活動状況 ・隔週：自由英作文の提出 ・定期考査ごと：自由英作文
	1年 前期	○教師の英語による指示を理解することができる。 ○身近な話題について、発話速度の調整や、基本的な語句や文への言いかえ等の支援を活用しながら、対話や説明の要点や概要を把握することができる。	○身近な話題に関する、基本的な語句や文で書かれた150語程度の文や関連する内容の英文について、必要な情報を読み取り、書き手の意図を把握することができる。 ○簡単な図表、電子メールやパンフレットから必要な情報を読み取り、書き手の意図を把握することができる。	○使用する語句や表現、やり取りの具体的な進め方を十分に示された上で、日常生活に関する話題について情報や考え、気持ちを状況に応じて相づちを打ったり、聞き返したりしながら、伝え合うことができる。	○身近な事柄について、30語程度の英語を話すことができる。 ○授業で取り上げられた話題について、自分の考えや感想を平易な表現を用いて話すことができる。	○示された語句や表現、モデル文を活用しながら、身近な事柄について30語程度の英文を書くことができる。 ○授業で取り上げられた内容についての発表のアウトラインやメモを作成することができる。
	1年 後期	○発話速度の調整や、基本的な語句や文への言いかえ等の支援を活用しながら、社会的な事象や問題などに関する対話や説明などの要点や概要を把握することができる。	○社会的な事象や問題などについて、基本的な語句や文で書かれた200語程度の文や書かれている内容の背景に関する説明を読から、必要な情報を読み取り、書き手の意図を把握することができる。 ○200語程の説明文や論証文から必要な情報を読み取り、概要や要点を把握することができる。	○使用する語句や表現、やり取りの具体的な進め方を十分に示された上で、社会的な話題についての対話や説明を聞いたり、読んだりして、賛成・反対の立場を示した上で、良い点や悪い点を対比したりして、自分の意見を理由や根拠と伝え合うことができる。	○日常的な場面を描いた写真や絵を見て、平易な表現を用いて説明することができる。 ○教科書で学んだ内容について、要点をまとめて説明することができる。 ○教科書で学んだことを生かして、調べた内容をまとめて説明することができる。	○示された語句や表現、モデル文を活用しながら、社会的な事象や問題に関する対話や説明を聞いたり、読んだりして、情報や考え、気持ちを理由や根拠と共に、40語程度の英文を書くことができる。
2年 前期	2年 前期	○社会的な事象や問題などに関する会話などを聞き、ポイントを理解し、正確に情報を聞き取ることができる。	○簡単なチラシや公共施設などにある案内、または図表などが複数提示されている英文を読み、必要な情報を得ることができる。	○教師や友人の身近な話題に関する話を聞き、即興で感想や意見を述べるることができる。	○社会的な事象や問題について、平易な表現を用いて説明することができる。	○論点や根拠などを明確にししながら、自らの考えや意見を相手に伝えるように述べるることができる。
2年 後期		○日常の身近な話題に関する会話などを聞き、複数の情報を正確に聞き取り、理解することができる。	○日常の身近な話題についての300語程度の物語を理解することができる。	○社会的な事象や問題についてペアやグループで話し合い、自らの意見や相手の意見に関する感想を述べる的確に、伝えることができる。	○身近な話題について、構成や表現を工夫した英文を用いて、身振り手振りやイントネーションを工夫してスピーチすることができる。	○説明や描写の表現に工夫しながら、自らの考えや意見を相手に伝えるように書くことができる。
3年 前期	2年 後期	○一定の支援を活用しながら、社会的な事象や問題などに関する対話や説明などの必要な情報を聞き取り、概要や要点を捉えることができる。	○一定の支援を活用しながら、社会的な事象や問題について書かれた説明文の概要や要点を読み取ることができる。	○一定の支援を活用しながら、社会的な話題について聞いたり読んだりしたことを基に、情報の要点や概要を的確に、伝えることができる。	○一定の支援を活用しながら、社会的な話題について聞いたり読んだりしたことを基に、情報の要点や概要を的確に、伝えることができる。	○一定の支援を活用しながら、社会的な話題について聞いたり読んだりしたことを基に、情報の要点や概要を的確に、伝えることができる。
3年 後期		○一定の支援を活用しながら、社会的な事象や問題について書かれた説明文から聞き取る目的に応じて、細部の情報を正確に理解することができる。	○一定の支援を活用しながら、社会的な事象や問題について書かれた説明文から、目的に応じて、書き手の意図を的確に理解するための細部の情報を読み取ることができる。	○一定の支援を活用しながら、社会的な話題について聞いたり読んだりしたことを基に、考えや気持ちなどを論理的に注意して、伝え合うことができる。	○一定の支援を活用しながら、社会的な話題について聞いたり読んだりしたことを基に、考えや気持ちなどを論理的に伝えることができる。	○一定の支援を活用しながら、社会的な話題について聞いたり読んだりしたことを基に、情報、考えや気持ちを論理的に注意して70～80語程度の英文を書いて伝えることができる。
	3年 前期	○社会的な事象や英語による講義などの、まとまった量の英文を聞き、要点を理解することができる。 ○構成がはっきりとした物語文などを聞き、重要なエピソードや関連する事項を認識することができる。	○社会的な事象や問題、文化などに関する説明文のパラグラフごとの要点をつかみ、必要な情報を得ることができる。 ○構成がはっきりとした、まとまった量の物語文の重要なエピソードや関連する事項を読み取ることができる。	○身近な話題についてペアやグループで話し合い、意見交換をする中で折り合いをつけ、ひとつの結論を導くことができる。	○イラストや写真、表やグラフを用いて、身近な話題についてプレゼンテーションをすることができる。 ○日常的な場面を描いた複数のイラスト写真を見て、筋道立てて内容について説明することができる。	○図表などと関連付けて論理的な文章を書くことができる。 ○自らの書いた英文を読み返し、推敲することができる。
		3年 後期	○社会的な事象や英語による講義などの、まとまった量の英文を聞き、複数の情報を統合的に理解することができる。 ○まとまった量の物語文などを聞き、内容を正確に理解することができる。	○社会的な事象や問題、文化などに関する説明文を読み、複数の情報を統合的に理解することができる。 ○まとまった量の物語文などを読み、内容を正確に理解することができる。	○社会的な事象や問題についてペアやグループで話し合い、反対意見や賛成意見などをお互いにやり取りする中で折り合いをつけ、ひとつの結論を導くことができる。	○社会的な事象や問題について、構成や表現を工夫し、説明をしたりそれに関する自らの意見を述べたりすることができる。 ○まとまった量の物語文などを読み、要点をつかんで説明をしたりそれに関する自らの意見を述べたりすることができる。

【値目標】	
①授業における教員の英語使用の割合	(70 %)
②授業において生徒による言語活動が占める時間の割合	(50 %)

- <作成上の注意事項>
- 「評価計画」の欄には、「授業中」、「定期考査」などの評価する時期や場面と、「活動の状況」、「パフォーマンステスト」など評価の材料とする項目を記入する。
 - 各学習到達目標はすべて、「～できる」という表記にする。
 - 到達目標として定期考査や模擬試験等の点数及び偏差値、外部テストの取得級、スコア等は記載しない。
 - 各学校の実情に合わせて、様式を独自に作成しても構わない。